

平成23年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【民間住宅ローン利用予定者編】（第2回）

1. 調査の概要

今後5年以内に具体的な住宅取得に伴い、民間住宅ローンを利用予定の方を対象にして、住宅取得に向けた行動や利用予定の住宅ローンの金利タイプなどに関する事項について、インターネットによるアンケート調査を実施(10/18～10/20)し、その結果を取りまとめたものである。回答数:1038件。

2. 調査結果の主なポイント

(1) 「全期間固定型」の希望は減少、「固定期間選択型」「変動型」は増加

- ・ 「全期間固定型」の希望割合は33.4%に減少し、「固定期間選択型」は35.2%に増加、「変動型」は31.4%に増加している。 <p.2>

(2) 住宅の買い時意識は低下

- ・ 今(今後1年程度)は、住宅取得のチャンス(買い時)だと思う方の割合は、41.2%に減少し、「分からない」は42.1%に増加、「そうは思わない」は16.7%に増加している。 <p.6,7>

(3) 住宅取得にあたって「耐震性能」「耐久性」を重視する方の割合が増加

- ・ 住宅取得時に特に重視するものを前回調査と比較すると、「耐震性能」「耐久性」が増加し、「価格・費用」「立地(災害などに対する安全性)」は減少している。 <p.10>
- ・ 耐震性能重視への対応を前回調査と比較すると、「耐震性能を高めたい」が増加し、「地盤調査・地盤改良工事を行いたい」「免震構造の住宅にしたい」は減少している。 <p.11>
- ・ 省エネ性能重視への対応を前回調査と比較すると、「断熱性能を高めたい」が増加し、「太陽光発電設備を設置したい」は減少している。 <p.14>